

コース名	東京テックイノベーションプログラム	コマ数	3	時間数	4.5
科目名	東京テック特別演習 1	教員名	牧野千里		
概要	<p>東京都の産業振興に資するべく構築された東京都立産業技術研究センター(TIRI)の保有技術について、現地見学するとともに、社会課題、技術実装例について説明を受け、理解する。</p> <p>特別演習 3 グループ内で新たに立案されている提案内容、あるいは履修生自身が構想している起業/新規事業提案内容に対する、TIRI 保有技術もしくは類似の科学的手法の活用(提案内容の事業開始前仮説検証、事業開始後における活用、等)について、各自発表する。</p>				
目的・狙い	起業/新規事業提案における関連技術の整理、事業ヒント、アイデアの実現力の育成を目的とする。				
履修条件(履修数の上限、要求する前提知識等)	<ul style="list-style-type: none"> ・現地見学は対面(1,2 コマを通して開催)を原則とし、課題レポートを作成、後日の講義(3 コマ目)で発表する。現地見学が困難な場合は、TIRI ホームページ公開情報、配布された資料を参照して自修し、課題レポートを作成、後日の講義で発表する。 ・本科目では、履修生個人でプレゼン資料を作成することになる。PC を用いた資料作成、プレゼンテーション、Web ミーティングができること(講義開始までに準備すること)。 ・講義に関する情報を LMS(manaba)から逐一収集できること。 				
到達目標	上位到達目標				
	・演習により、起業/新規事業提案内容と TIRI 保有技術(類似技術を含む)の関連を理解するとともに、新たな活用方法をイメージできる。				
	最低到達目標				
	・先端技術の概要、およびその応用例を理解する。				
授業実施形態(単一または複数から構成される)	形態	○	留意点		
	対面型	○	TIRI 見学(1,2 コマを通して開催)は対面を原則とする。ただし出席が困難な場合は、TIRI 技術資料(ホームページ公開資料、見学時配布資料)を参照して自習し、発表資料を作成、後日(3 コマ目)発表する。		
	ハイフレックス型(オンタイム)	○	3 コマ目の発表のみハイフレックスとする。		
	ハイフレックス型(録画併用)				
	録画視聴型				
授業外学習	・特別演習3グループワークに活用すること。				
授業の進め方(グループワーク方式など、進め方の特徴)	<ul style="list-style-type: none"> ・東京都立産業技術研究センター(TIRI)保有技術に関する実地見学、説明(1,2 コマを通して開催)。 ・特別演習 3 グループ内で新たに立案されている提案内容、あるいは履修者自身が構想している起業/新規事業提案内容に対して、TIRI 保有技術(類似技術を含む)の活用(提案内容の事業開始前仮説検証、事業開始後における活用、等)に関して、各自発表する(3 コマ目)。 ・1,2 コマ目の出席が困難な場合は、TIRI 技術資料(ホームページ公開資料、見学時配布資料)を参照して自修し、発表資料を作成、3 コマ目に発表する。 				
授業の計画	回数	内容			授業実施形態 [対]、[ハ(オ)]、[ハ(録)]、[録]
	第 1 回	東京都立産業技術研究センター(TIRI)保有技術に関する実地見学。出席が困難な場合は、TIRI 技術資料(ホームページ公開資料、見学時配布資料)を参照して自修する。			対
	第 2 回	東京都立産業技術研究センター(TIRI)保有技術に関する実地見学。出席が困難な場合は、TIRI 技術資料(ホームページ公開資料、見学時配布資料)を参照して自修。(1 回目と同日開催)			対

	第3回	レポート課題をプレゼンテーションする。	対、ハ(オ)
成績評価	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーション資料の提出、プレゼンテーションの結果をもとに、到達目標と照らしあわせ、合否判定を行う。 ・プレゼンテーション資料が提出されない場合は、本科目の評価は行われず、自動的に不合格となる。 		
教科書・教材	<ul style="list-style-type: none"> ・見学時に資料が配布される(後日 manaba を通じて共有される)。 		
参考図書	<ul style="list-style-type: none"> ・必要があれば紹介する。 		